

災害現場と無電柱化について

平成29年3月14日

日本財団 ソーシャルイノベーション本部

シニアオフィサー 黒澤 司

プロフィール

1989年 日本財団 入社

- ・福祉、伝統文化、環境保全などの公益法人・NPO団体・ボランティア団体の立ち上げや活動を支援

1995年 阪神・淡路大震災

- ・災害ボランティアの支援、ネットワークづくり、技術指導等を実施
- ・以降、ナホカ号重油流出事故、中越地震、宮城・岩手内陸地震などの多くの被災地で災害ボランティア団体等の活動を支援

2008年 日本財団 退職

→ 宮城県災害ボランティアセンター運営委員 等

2011年 東日本大震災(当日夜から救援活動に従事)

2011年 日本財団 復職

- ・東日本大震災現地支援センター責任者として、学生によるボランティア活動などを指導・指揮
- ・以降、広島土砂災害、関東・東北豪雨災害、熊本地震など、被災地で救援活動に従事

現在

日本財団 ソーシャルイノベーション本部 シニアオフィサー
DRT-JAPAN(技術系災害ボランティアネットワーク) 主宰
NPO法人国際ボランティア学生協会(IVUSA) 特別顧問 等

緊急救援期の主な活動(熊本地震)①



緊急救援期の主な活動(熊本地震)②



緊急救援期の主な活動(熊本地震)③



新潟中越地震(小千谷市)【平成16年】



広島土砂災害(安佐南区)【平成26年】



鬼怒川決壊(常総市)【平成27年】



熊本地震(益城町)【平成28年】



熊本地震(益城町)【平成28年】



- 全壊家屋だらけの地区でも通電しっぱなし
- ケーブルカーが各所にて短絡事故が発生
- 三相200Vのケーブルの切断時に融解したケーブルカッターの刃先



被災地での救助活動と電柱について (まとめ)

- 電柱が倒れる事故
- 折れた電柱が緊急車両等の妨げ
- 折れた電柱により一般家庭の出入り困難に
- 垂れ下がった電線の救援活動の妨げ
- 垂れ下がった電線による感電事故
- 通電火災の原因
- 折れた電柱の撤去まで多くの時間を要する
- 折れた電柱は放置される事が多かった

今ある電柱撤去を進め、災害に強い地域づくりに期待